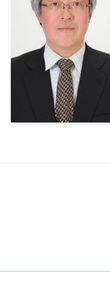
児玉 茂昭 KODAMA Shigeaki

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	准教授	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	こだま　しげあき	生年	1971年
学歴	１９９４年３月　京都大学文学部文学科（言語学専攻）卒業 １９９７年３月　京都大学大学院文学研究科（言語学専攻）修士課程修了 ２０００年３月　京都大学大学院文学研究科行動文化学専攻（言語学専修）博士後期課程単位取得後退学		
学位	２００３年３月　博士（文学）京都大学		
研究分野	印欧語比較言語学		
研究テーマ	印欧祖語における名詞の形成法について		



主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
文字を持たない言語と計算機	単	2006年3月	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	
「やさしい日本語」作成支援システムとコーパス検索システム	単	2013年10月	ココ出版	
言語天文台からみた世界の情報構造	共	2014年10月	慶應義塾大学出版会	
「告解」	単	2023年3月	名古屋外国語大学学術出版会	「黛、もしくは別れの夜に」亀山郁夫・エリス俊子編、162-173
Πλάτων “ Απολογία（ソクラテスの弁明）”より	単	2024年12月	名古屋外国語大学学術出版会	「ザ・ワールド・ウィズ・アス」名古屋外国語大学編
Terentius “ Heauton Timorumenos（自虐者）”より	単	2024年12月	名古屋外国語大学学術出版会	「ザ・ワールド・ウィズ・アス」名古屋外国語大学編

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
印欧語の合成語における母音交替について	単	1997年12月	言語学研究第16号	
ギリシア語i-語幹中性名詞の歴史的研究（博士論文）	単	2003年3月	京都大学	
汎用的な電子辞書の構造についての考察	単	2005年3月	アジア・アフリカ言語文化研究69号	
Analysis of the　Asian Languages on the Web Based on n-gram Language Identification	共	2008年8月	The International Journal on Advances in ICT for Emerging Regions Vol.,1	
Measuring Phonetic Similarities of Words across　Language	共	2009年11月	Proceedings for Workshop on Natural Language Processing for Asian Languages	
Measuring Linguistic Diversity on the Web	共	2012年5月	NET.Lang towards the Multilingual Cyberspace	
Latin Metals	単	2013年1月	東京大学言語学論集第33集	
The Historical Background and Development of Latin argentum ‘Silver’ and its Cognates	単	2019年12月	QAZZU Warrai: Anatolian and Indo-European Studies in Honor of Kazuhiko Yoshida	
古典ギリシア語の非人称構文「δοκεῖ+与格」について	単	2025年3月	Altes Mundi 第10号	
On the Understanding of the Productivity of the Verbalizing Suffix -ize	単	2026年4月	English Language Teaching: Current Issues and Future Prospects II	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
ギリシア語の名詞に見られる母音交替について	単	1997年6月	第114回日本言語学会大会	
ギリシア語のi語幹中性名詞について	単	1998年11月	第117回日本言語学会大会	
ギリシア語の長いiを持つi語幹中性名詞について	単	2002年11月	第125回日本言語学会大会	
Asian and African Languages on the Web	単	2006年11月	1st Internet Governance Forum, Athens	
Asian Language Resource Network	単	2006年11月	Pan Localization Forum, Timpu	
African Languages on the Web	単	2007年2月	International Mother Language Day, Paris	
Languages on the Web	単	2007年11月	2nd Internet Governance Forum, Rio de Janeiro	
自動言語判定手法の開発とそれを利用したインターネット上の言語分布に関する調査	共	2007年11月	第135回日本言語学会大会	
コーパスの異なる二単語構成度を活用した日本語共通基礎語彙の抽出	共	2010年3月	言語処理学会第16回年次大会	
アジア及びアフリカの地域別ドメインにおける言語の分布状況について	共	2010年3月	第72回情報処理学会全国大会	
Automatic Paraphrasing System from Japanese into the Plain Japanese for Engineering Education	共	2010年3月	International Symposium on Global Multidisciplinary Engineering 2010	
String Edit Distance for Computing Phonological Similarity between Words	単	2010年3月	International Symposium on Global Multidisciplinary Engineering 2010	
Pattern Matching of Grammatical Phrase for Plain Japanese System	共	2011年1月	International Symposium on Global Multidisciplinary Engineering 2011	
An Analysis on so-called saheN-nouns in Japanese and its Application to Plain Japanese	単	2011年1月	International Symposium on Global Multidisciplinary Engineering 2011	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
2022年度１期FD Weekにおける報告	2022年9月8日	タイトル「人文系・外国語系大学における教理データサイエンスの導入」

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本言語学会
日本英語学会
英語教育学会
西洋古典学会

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
２００２年１１月～２００３年７月	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所非常勤研究員	
２００３年８月～２００６年３月	日本学術振興会特別研究員（PD）	
２００６年４月～２００９年９月	長岡技術科学大学経営情報系客員准教授研究員	
２００９年１０月～２０１１年３月	長岡技術科学大学教育研究高度化支援員	
２０１１年９月～２０１６年８月	アジア太平洋無形文化遺産研究センターアソシエイトフェロー	
２０１６年１２月～２０１７年３月	国立民族学博物館プロジェクト研究員	
２０１７年４月～２０２０年３月	アジア太平洋無形文化遺産研究センターアソシエイトフェロー	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
Intensive Reading 3,4	英米語学科
Listening Comprehension 1,2	全学共通科目
情報リテラシー（１期開講科目）	全学共通科目
ラテン語（１期開講科目）	外国語学部
ギリシア語（２期開講科目）	外国語学部
統計の見方（１期開講科目）	全学共通科目

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
僅言語特殊講義で開講するラテン語及びギリシア語については、両言語が西洋古典語という力テゴリに分類される言語であり、現在のヨーロッパの文化的基礎の重要な部分であることから、単に語学学習を目的とするだけでなく、現在のヨーロッパの言語や文化に与えた影響についても理解できるよう授業の構成を行っている。